

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第115号 2013年6月

やどりき水源林ニュース

発行(公財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
 220-0073 横浜市西区岡野2 12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 045-412-2255 URL: <http://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ(費用等負担はありません)

毎週土曜 日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

梅雨時の水源林を訪ねて



梅雨時の水源林は雨や霧で別の世界に見えます。こんな日に訪れると新たな魅力が発見できます。



雨の中で出会った花たち



ジャケツイバラ



ニシキウツギ



ハリエンジュ

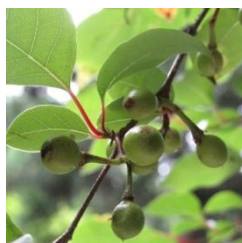


ハンショウツル



ヤマボウシ

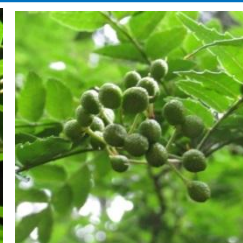
青い木の実たち



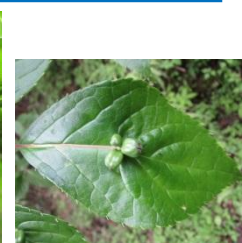
アブラチャン



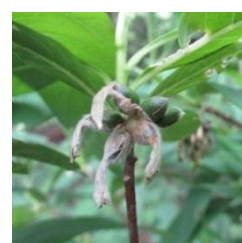
コクサギ



サンショウ



ハナイカダ



ミツマタ

水源林の保全活動

やどりき水源林では幾つかの団体が定着型ボランティア活動で水源林の保全を行っています。我々かながわ森林インストラクターの会のメンバーも、後沢の上流から後沢乗越しの稜線辺りまでの約10haの森林で森づくりを行っています。

やどりき水源林は森村組(県が所有する以前の所有者)が1913年に植林を開始してから今年で100年になります。その100年の歴史を活かし、更に300年後の森林を夢見て、水源涵養機能の豊かな森林、多様な生物の棲める森林、訪れる人に親しみのある森林を目指して活動しています。今回はその活動の一端を紹介します。



出発前の安全ミーティング



橋の補修で安全確保



径路作りも力を込めて



出発から作業現場まで延々1時間

作業現場では



間伐



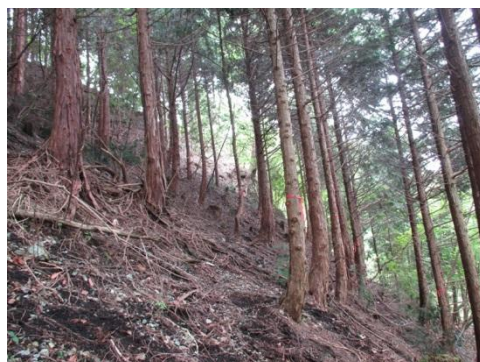
枝打ち



荒れた森林(作業前)



地表に光を入れると下草が生えて表土の流出を防ぐと共に保水力を高めます



手入れされた森林(作業後)

6月のトピックス
ウツギの季節です。
やどりきでは3月下旬のヒメウツギに始まり7月のフジウツギまで11種類の「ウツギ」が次々に花開きます。



梅雨時のウツギ

7月の水源林
梅雨が明ければ夏休みです。滝見物でマイナスイオンを浴びた後は、寄沢の水生生物の観察は如何でしょうか?インストラクターが観察のお手伝いをします



寄沢に注ぐ滝郷の滝